

渡島廃棄物処理広域連合からのごみ受入れ状況について

1. 経緯

令和8年 4月29日	渡島廃棄物処理広域連合のごみ焼却施設「クリーンおしま」において爆発を伴う火災が発生し、可燃ごみ処理は全面停止
5月14日	同広域連合より恵庭市へ広域処理の協力要請
7月1日	恵庭市長定例記者会見にて協議・検討中の公表
7月15日	同広域連合と委託契約締結

2. 「クリーンおしま」の設備及びごみ処理の状況（令和8年7月28日時点）

設備の状況

- ・広域連合からの報告では、被害調査は継続中であるが、主要設備の健全性が確認され、修繕による復旧を基本に検討するとしており、この場合だと約2年程度を要する見込み。

ごみ処理の状況

- ・令和7年度の処理量は約81トン/日。このうち約8割を2自治体4団体が受入処理。
- ・全体で7自治体3団体と受入協議中。搬入先及び搬入量は未定。

3. 恵庭市 委託契約内容

受入物	一般廃棄物：家庭系(可燃)、事業系(可燃)、生ごみ
受入期間	令和8年7月16日～令和9年6月30日
搬入日時	原則、月～金曜日 9時～16時(市内収集車と同時間帯)
搬入経路	渡島地域 → 高速道路 → 恵庭 IC → 川沿線 → 本市焼却施設
搬入量	1日当たり6.5トン以内(搬入予定車両1台分)
受入先	恵庭市焼却施設 処理能力56トン/日(28トン×2炉) (令和7年度処理実績:平均33トン/日〔365日換算〕)
処理手数料	44,000円/トン(本市ごみ処理原価を基に算定)

4. 搬入物の安全性

- ・火災原因は、クレーン設備の復旧後にごみピット内の滞留ごみを確認する本調査を実施する必要があり、原因究明には相当な時間を要する見込み。
- ・ごみ質分析結果を確認するとともに、**受入後は展開検査を実施予定。**
- ・契約においても、搬入物検査への協力及びごみ質分析結果の提出を求めることとしている。
- ・既に受入れを行っている自治体・団体では、現時点で火災等は発生していない。

5. 搬入時期・搬入量

- ・受入量は1日当たり6.5トンを上限とするが、**本市への実際の搬入時期・搬入量は未定。**
- ・今後の搬入計画は、他自治体・団体との受入調整を踏まえ決定される見込み。
- ・年末年始や焼却炉点検期間等は受入れを行わないことで協議しており、本市施設の運営に支障のない範囲で受入れを行う。

以上